

『Choose Your Life お仕事図鑑』

～ ミアヘルサ株式会社 × 埼玉県立小川高等学校 定時制～

お仕事図鑑とは

- 日本の様々な業界を代表する企業、団体と連携をして、その業界の歴史、文化、そこで働く方々の志と想いを次世代の若者に伝え、継承していく取組です。
- お仕事図鑑を受講した若者は自分が知らなかった業界の歴史、そこで働く方のキャリアを学び、自分のキャリアの選択肢を作り、自分の人生を主体的に選択できる機会を創出します。
- 結果として、業界・企業の発展に繋がる機会を作りたい、若者にとっては自分が知らなかった業界、キャリアの選択肢を作り、主体的なキャリア選択を行い、豊かなキャリアを歩む機会を作りたいと思っています。

活動のゴール

- 多様な働き方、キャリアの歩み方を知り、進路・キャリアを明確にするきっかけにする。
- 通常の学校生活を送っているだけではなかなか出会えないカッコいい大人との出会いを通して、生き方・キャリアプランの選択肢を知り、考える機会を届ける。
- 取組を通して様々な生き方・選択肢を知り、『Choose Your Life』をサポートする。

今回の参加企業・登壇者について

- 会社名 : ミアヘルサ株式会社
- 登壇者 : 関根様・青木様・東様・仲間様
- 会社内容 : 「少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする」をミッションに掲げ、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体で提供し、身体機能の維持向上はもとより、生活機能の向上を目指した「自立支援型・改善型ケア」を推進している。また、地域の交流を通し、人材育成も行っている。

HASSYADAI SOCIAL

×



merhalsa

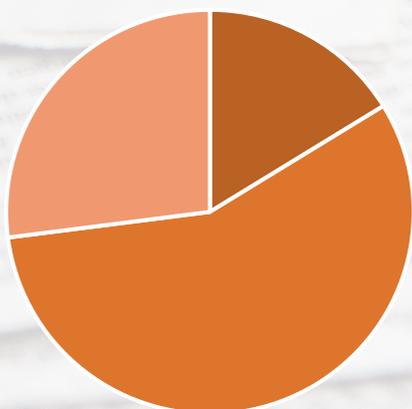
活動の内容

- ・実施時期：2023年6月19日（月）19:30～21:00
- ・参加者：埼玉県立小川高等学校 定時制 全学年 37人

時間	コンテンツ	内容
10:30～10:40	オープニング	企画の目的説明・ゲストの紹介
10:40～11:30	保育・介護業界、ミアヘルサの事業、ゲストのキャリアについて対話	ゲストとファシリテーターとの対話をもとに、生徒がキャリア・進路について考える機会
11:30～12:15	アフタースクール	生徒の質疑・対話の時間

実施後アンケート結果

回答者37人の内、**27人**が
満足・大変満足と回答



■ 大変満足 ■ 満足

話を聞いて「保育・介護」業界のイメージが変わった参加者

16人

今後、ミアヘルサの会社見学会に参加したいと回答した参加者

10人

※回答者37人

HASSYADA SOCIAL

×



merhalsa

- 「保育・介護業界で働くことに興味が湧いた」と答えた人：6人
 - 「保育・介護業界が選択肢の一つになった」と答えた人：6人
 - 「事業に好印象を抱いた」と答えた人：13人
 - 「ゲストの人生に共感した」と答えた人：6人
 - 「今日の話聞いて挑戦をしたいと思った」と答えた人：5人
 - 「目標ができた」と答えた人：2人
 - 「将来が少し楽しみになった」と答えた人：11人
- ※複数回答可

参加者の声

業界のイメージが変化した参加者の声

- 大変そうなイメージでしたが、会社によって「感じ方・捉え方」が大分違ってくることがわかりました。
- 介護業界の担い手の少ない現状に驚きましたが、お話を聞いていると、楽しそうに働いて良いなと感じました。
- 福利厚生がちゃんとしていて、魅力的だなと感じました。
- 話を聞くまでは、介護・保育業界にあまり関心がありませんでしたが、それぞれの良さを知ることができて、初めて興味を持ちました。
- 私たちと年齢が近い人の話を聞いて、働くことが身近に感じました。

参加者の感想

- 介護や保育の仕事は、話を聞いてあらためて大変な仕事だなと実感しました。でも今日来てくれたミアヘルサの方の話を聞いて、大変な仕事だけでなく、勇気や元気ももらえる仕事なんだなというのわかって良かったです！
- 私は現在アルバイトで介護をしています 小学校からの夢で、アルバイトで、この職につけたことを嬉しいです。また、最初は大変で、もう辞めたいって思っていたけど、将来つきたい職なので、3年間バイトを続けています。ハッシュャダイの勝山さんに相談したところ、ミアヘルサさんを紹介していただいて、興味があります。講演会を聞いて、いっそう興味が湧きました。
- 仕事と学業との両立が大変でも就職をすれば仕事一筋になり自由時間が増えるので大変な時期があっただけよかったという言葉に心が軽くなりました。今を乗り越えれば今より楽な将来が待っていると思うと将来が楽しみになりました。
- 今回の講演会で2つの職業についてとても深い話を聞けて良かったです、介護、保育のことを聞いて、大変だけどそれぞれ楽しさもあるということに心動かされました。